

様式第9号（第10条関係）

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
-----	-----------------------

令和7年度 寄附金活用実績報告書

事業の区分 (該当へ☑してください)	☐ 団体支援型 ☒ テーマ指定型 ☐ 自由提案型
実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
寄附活用実績額等	寄附目標額：580,000,000円（個人版ふるさと納税のみ） 寄附実績額：441,060,550円 (R7.2-3月 9,148,678円、R7.4-R8.1月 431,911,872円) 事業費：2,400,514,565円 自己負担額：2,012,381,565円
事業内容	保護した野犬のトレーニングを強化し、譲渡会への参加や里親募集サイトなどを通じてオンライン、オフライン両面の譲渡に力を入れ、里親希望者とのマッチングを進めた。引き続き、広島県や他の保護団体などと協力して殺処分機の稼働ストップを維持しつつ、新たに徳島県などでも殺処分対象の犬を積極的に引き取り、同県の殺処分をなくすことにも貢献した。法務省と連携して刑務所での保護犬育成プログラムに取り組むなど、殺処分をなくすための啓発活動や保護犬に対する関心の喚起にも取り組んだ。動画サイトやSNSによる活動報告、情報発信を活発におこなった。事業資金の調達については、ふるさと納税に加え、引き続きインターネット広告も活用して継続会員の増加に努め、遺贈による寄付も増加した。
実施事業の成果・効果	広島県および徳島県の殺処分機の稼働を継続してストップ、600頭以上の犬を譲渡することができた。飼育スタッフが増え、老犬や介護が必要な犬に対して、より手厚いケアができるようになり、中堅スタッフが運営を担う体制づくりをさらに進めることができた。元野犬の人慣れトレーニングの技術向上に引き続き注力し、ノウハウをスタッフで蓄積することができた。会員が8万人を超え、事業の運営基盤がより安定した。

※様式第9号、第10号の寄付実績額・事業費等および収支の内訳は、令和7年2月-令和8年1月の会計年度の決算に基づく。

様式第 10 号（第 10 条関係）

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
-----	-----------------------

令和 7 年度 収支決算書

事業の区分		□団体支援型 ☒ テーマ指定型 □自由提案型	
事業名		ピースワンコ・ジャパン プロジェクト	
項目		金額（円）	内容・内訳計算（単価×数量）
収入	交付金交付申請額	388,133,000	ふるさと納税による神石高原町への寄付金の 88% 個人版 385,096,000 円 (R6.2-3 月 3,601,000 円、 R6.4-R7.1 月 381,495,000 円)
	企業版ふるさと納税交付金	13,784,000	
	寄付金（会費を含む）	1,965,165,574	会費、指定寄付金
	その他事業収入	33,431,991	業務委託料、原稿講演料、商品売上高等
	前年度繰越金	0	
	収入計	2,400,514,565	
支出	スタッフ人件費	603,489,997	給料、賃金、法定福利費、福利厚生費、採用関係費等
	直接事業費	293,862,916	犬養育費・医療費、救助犬等育成事業費
	犬舎・事務所維持費	302,400,217	水道光熱費、事務所維持費、修繕費、地代家賃
	物品購入費	21,138,314	事務用品・備品・消耗品購入費
	商品仕入高	5,230,671	
	旅費交通費	29,865,213	国内外旅費、車両維持費
	ふるさと納税返礼品関連支出	15,895,599	返礼品の購入費
	保険料	13,645,011	
	外注費	64,623,478	コンサルティング・広報・管理業務等委託費、報酬
	その他事務管理費用	442,082,575	リース料、医療衛生費、通信・運搬費、広報啓発費、コピー印刷代、会議費、会場費、租税公課、手数料等
	犬舎建設などに係る固定資産購入支出	23,791,844	犬舎建設費、車両購入費等
	一般管理費	584,488,730	指定寄付金等の 25%を上限とした一般管理費
	次年度繰越金	0	
	支出計	2,400,514,565	

※様式第 9 号、第 10 号の寄付実績額・事業費等および収支の内訳は、令和 7 年 2 月-令和 8 年 1 月の会計年度の決算に基づく。